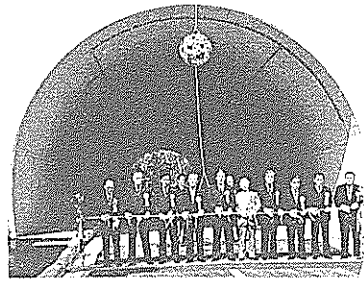


石土トンネルが身近に

石土トンネル拡幅工事終わる



て三三〇メートル（トンネル部分は七八メートル、幅員五・五メートルの二車線）で総工費は二億五千万円。この完成で十市と五台山方面が最短距離で結ばれました。

開通式では、小笠原市長らがテープカット。参加者全員が通り初めを行いました。

大篠Eが優勝

第4回市長杯

スカツシユバレー大会

南国市スカツシユバレー連盟主催の第四回南国市長杯スカツシユバレー大会が二月十一日に市民体育館などで開かれ、四十チームが熱戦を繰り広げました。

スカツシユバレーボールは、柔かいボールを使って三人一組で行うもので、誰でも気軽に楽しめる軽スポーツとして数年前から盛んになってきており、地区での対抗試合もあちこちで行われています。

十市パークタウンから高知市吹井の奥道仁井田―竹中線を結ぶ市道南国一一〇号線「石土トンネル」が完成。二月二十日、関係者約五十人が参加して開通式が行われました。

これは、旧トンネルの幅員がわずか三・二メートルしかなく車の行き違いもできなかったため、南国市が県住宅供給公社と共同して、昭和六十三年十二月から工事を進めていたものです。当初は阿戸トンネルと呼ばれていましたが、昨年八月に地元の要望で石土トンネルと改称。

総延長は取り付け道路を含め

参加者は五つのゾーンに分かれて日ごろの練習の成果を発揮結果は次のとおりです。

優勝Ⅱ大篠E、準優勝Ⅱ岡豊C、三位Ⅱ岡豊B。

ゲートボールで健康づくり

22チームが市長杯を争う



市長らが始球式

第一回南国市長杯ゲートボール大会が二月十三日、鷲ヶ池中跡のグラウンドに二十二チーム約百五十人が参加して行われました。

この大会は、市民の健康づく

りの一環として、市保健課国民健康保健係が主催して今年から始めたもので、まず、小笠原市長が「大いにスポーツに力を入れて健康でやっつけていきましょう」とあいさつ。市長らによって始球式が行われた後、和気あいあいと和やかに競技が進められました。

結果は次のとおりです。

優勝Ⅱさくら（大垣）、準優勝Ⅱあやめ（大地）、三位Ⅱハチマン（岡豊）、敢闘賞Ⅱフリージャ（久礼田）

新し尿処理場を前浜に

前浜に

8カ所で説明会

地元の理解求める

市は、かねてからの課題である新しいし尿処理施設を前浜に建設したいとして、二月五日から地元説明会を行い、地元住民の理解と協力を求めました。

現在市では、一日六二・五トンのし尿を黒滝処理場で処理していますが、処理水を地下浸透方式で処理していることなどから使用できるのは後三年ぐらいです。このため、近代的な恒久

施設の建設について、廃棄物処理委員会や庁内の立地対策委員会と検討。最適地として建設中の広域農道沿いの前浜字吉井を選定しました。

初日の五日は、市から市長や両助役ら六人が出席し、本村公民館で開催しました。まず市長が「迷惑施設であり、いろいろと批判があると思うが、皆さんのご理解とご協力をお願いします」と地元協力を要請。続いて生活環境課長が選定に至った経過や新施設の概要を説明しました。

地元からは、建設について理解を示しながら「スポーツ施設や基盤整備など地元へのメリットも考えてもらいたい」「広域農道を搬入路として利用するということが、農繁期には農耕車との関係で混雑するのではないか」といった意見が出されました。

これに対して市は「地元の要望については誠意をもって検討させていただきます」と答えました。

この後、十六日まで七カ所で説明会を開催。廃棄物処理委員会の答申を受けて、平成二年度中に基本計画を立て、五年度には共用を開始したい方針です。